

下水処理場

- ◆ **対象処理場**：R2調査対象9自治体のうち、比較的感染者数の多い5自治体に新たな1自治体を加えて、6自治体を対象に、流入下水を採取し、新型コロナウイルスRNA濃度の調査を実施。
- ◆ **処理場定期調査**：処理場流入水（又は最初沈殿池越流水）に対し、**1回/週**でのサンプリングを行い、新型コロナウイルスRNA濃度を測定する。
- ◆ **短期集中調査**：処理場流入水に対し、**3回～5回/週**に頻度を上げたサンプリングを短期で行い、新型コロナウイルスRNA濃度を測定する。頻度を上げることで濃度変化と感染者数の関係をつかむ。
- ◆ **24時間・時間帯別調査**：処理場流入水に対し、**特定の1日の1時間又は2時間ごと**のサンプリングを行い、時間帯別の新型コロナウイルスRNA濃度を測定する。時間帯別の濃度測定により、最適な採水時間帯を検討する。
- ◆ **分析手法クロスチェック**：複数の分析手法について同じサンプルで分析を行うことで、それぞれの分析手法の特徴をつかむ。（日本水環境学会スクフォース（PEG沈殿）方式、沈殿物抽出法（仮称）、北大・シオノギ法（仮称））

マンホール

- ◆ **マンホール定期調査**：**感染者のいる施設**（軽症者療養ホテル）排水の流入するマンホール及び**リスクが高いと考えられる施設**（高齢者介護施設）排水の流入するマンホールに対し、1回/週でのGrabサンプリングを行い、新型コロナウイルスRNA濃度を測定する。
- ◆ **マンホール追跡調査**：エピセンターと想定する感染者のいる**施設から処理場までの間のマンホール**排水分析を行う。

調査検討概要（R3調査対象とスケジュール）

都市	分析手法	下水処理場				マンホール	
		定期調査	短期集中調査	24時間 時間帯別調査	分析手法 クロスチェック	定期調査	追跡調査
A	北大・シオノギ法 (仮称)	●	●		●	●	●
B	○4月～6/13採水 ・PEG沈殿法 ○6/14以降採水 ・沈殿物抽出法(仮称) ・PEG沈殿法	●	●	●		●	
D		●	●		●	●	
H		●	●			●	
I	北大・シオノギ法 (仮称)	●	●	●		●	
J		●				●	

R3スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月
中間報告					
処理場定期調査	■				
短期集中調査		■			
24時間・時間帯別調査				■	
分析手法クロスチェック					■
マンホール定期調査		■			
マンホール追跡調査【今後実施予定】					

※今後も必要に応じて各種調査を実施予定。